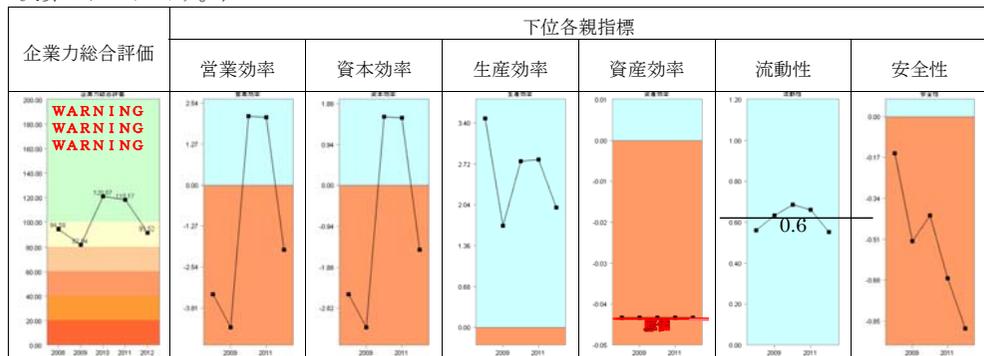
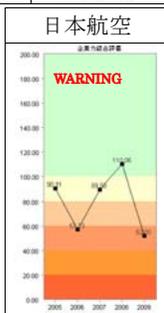


今回は、野村ホールディングス株式会社を分析しました。日本の資本主義を支える金融、野村ホールディングス(株)はどうなっているのでしょうか。(最新2012年のみ2011年9月までの半期決算のデータです。)

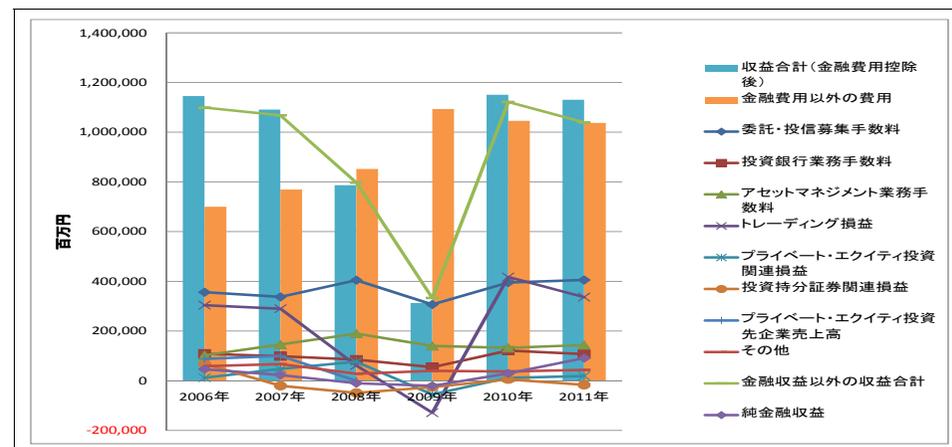


企業力総合評価に赤い **WARNING** が3つついています。黄信号領域にはまりながら不安定に揺れています。右図の日本航空に似ています。 94.59→82.04→120.87→118.17→91.52 と青信号領域～黄信号領域という程度に見えますが、実際は60点以下の破綻懸念と同じレベルと考えられます。不安定な経営です。



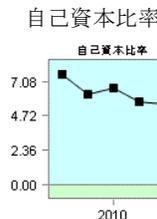
営業効率(儲かるか)と資本効率(資本の利用度)は2008年、2009年、2012年が赤信号に大きくはまっています。営業効率、資本効率の形状と企業力総合評価の形状が一致していますから、不安定を支える支柱がないのでしょう。生産効率(人の利用度)は青信号領域で悪化トレンドです。資産効率(資産の利用度)は赤信号領域で底値です。流動性(短期資金繰り)は青信号領域で、まあまあの数値です。安全性(長期資金繰り)は赤信号領域を急激に落ちていきます。流動性や安全性などの財務が良ければ、経営の不安定さを支えることができるのですが、その余裕がありません。

単位: 百万円	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
委託・投信募集手数料	356,325	337,458	404,659	306,803	395,083	405,463
投資銀行業務手数料	108,819	99,276	85,096	54,953	121,254	107,005
アセットマネジメント業務手数料	102,667	145,977	189,712	140,166	132,249	143,939
トレーディング損益	304,223	290,008	61,720	-128,339	417,424	336,503
プライベート・エクイティ投資関連損益	12,328	47,590	76,505	-54,791	11,906	19,292
投資持分証券関連損益	67,702	-20,103	-48,695	-25,500	6,042	-16,677
プライベート・エクイティ投資先企業売上高	88,210	100,126				
その他	58,753	67,425	28,185	39,863	37,483	43,864
金融収益以外の収益合計	1,099,027	1,067,757	797,182	333,155	1,121,441	1,039,389
純金融収益	46,623	23,344	-9,925	-20,528	29,381	91,309
収益合計(金融費用控除後)	1,145,650	1,091,101	787,257	312,627	1,150,822	1,130,698
金融費用以外の費用	700,050	769,343	851,845	1,092,892	1,045,575	1,037,443



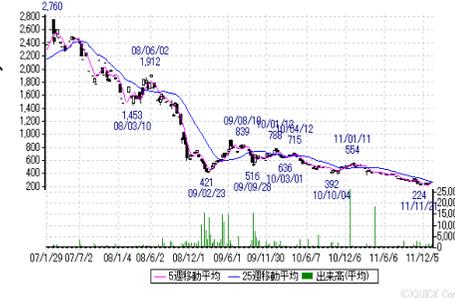
収益合計が青い棒グラフ、費用がオレンジの棒グラフです。収益が極めて不安定です。その原因はトレーディング損益(注:1)です。激しく乱高下して2009年にはマイナスになっています。トレーディング損益は、海外の金融破たんなどの影響がダイレクトに出ます。そのボリュームが大きいので、全体としてこのような結果になります。トレーディング損益は、大きな収益を生みますが、逆に大きな損失をも生みます。このような不安定な収益が、主たる収益の柱になっていることが問題ではないでしょうか。

自己資本比率(右図)は下がり続けて、5.52%です。株価も下落の一途を辿っています。



注1: トレーディング損益・・・市場取引を短期的に繰り返して利益を追求するトレーディング取引による損益。①金融先物取引所上場の先物・オプション取引 ②ヘッジ目的で行う債券 ③内外CP、CD、貸付債権信託の受益権証書の取得または譲渡 ④FRA、FXA ⑤先物外国為替取引 ⑥金利スワップ、通貨スワップ取引 ⑦非上場オプション取引 ⑧有価証券店頭デリバティブ

まとめ証券会社は本来、企業の直接金融のために、市場から資金を集めて企業と投資者との橋渡しをするのが仕事で、自己資本比率を高めて経営を安定化させなければならないはず。それが、トレーディング損益に振り回されているようです。



編集後記まわりが何を騒いでいようが、自分の本来の仕事の領域を見失ってはいけません。文責MS  
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-9-21 SARUKIビル4F 猿木真紀子税理士事務所  
Tel. 06-6631-4570 Fax. 06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp